

自身の不妊傾向を早期にチェックできるアプリ

☰ 概要

1. 背景

妊娠を望んでいいる人たちが、妊活を開始してから初めて自身が不妊であることを知り、思うように妊娠が出来ない、妊娠をあきらめてしまう状況が少なくない。

<https://www.sbc-ladies.com/column/funinchiryu/2268.html>

https://www.funin-osaka.jp/info_01/info-5/

2. アイディアの概要

スマホ、またその他ウェアラブル端末より、自身の体調などをデータ化し解析することで、自身が不妊傾向にあるのかを通院などをせずに把握できる。

妊活を開始する前に自身が不妊傾向にあるのかを把握することで、事前に治療を開始することができ、いざ妊活を開始したタイミングでスムーズに妊娠することが出来る。

3. 本アイデアに対するニーズと想定している利用者

将来的に子供を欲している人口。

4. 想定規模

スマホアプリ、その他ウェアラブル端末からのIoTデータの活用を想定しているため、該当の端末が利用可能な全人口

5. サービスの独自性、ITテクノロジーの優位性

既存不妊治療サービスは女性を対象にしたものが多い。

しかし、本アイデアでは男性の不妊傾向も解析することが出来るのが独自性。

他の健康管理サービスと連携することで、データ入力の自動化等が実現でき、利用者側の手間を削減できるがITテクノロジーの優位性。

(例：写真撮影で食事のカロリー計算をしてくれるサービス「FoodLog」https://www.bs-log.com/20160628_756969/

写真撮影で自身の体脂肪率を計算してくれるサービス「MyfitnessPal」

[https://apps.apple.com/jp/app/myfitnesspal-](https://apps.apple.com/jp/app/myfitnesspal-%E3%82%AB%E3%83%AD%E3%83%AA%E3%83%BC%E8%A8%88%E7%AE%97/id341232718)

[%E3%82%AB%E3%83%AD%E3%83%AA%E3%83%BC%E8%A8%88%E7%AE%97/id341232718](https://apps.apple.com/jp/app/myfitnesspal-%E3%82%AB%E3%83%AD%E3%83%AA%E3%83%BC%E8%A8%88%E7%AE%97/id341232718)

等と連携)

6. 想定している機能

端末の利用時間等から生活習慣を得て、そのほかセンサーなどから得られる情報（体温など）を基に不妊傾向を判断。

※不妊は、睡眠時間や基礎体温などが影響 (<https://www.tawara-ivf.jp/cts/bbt.html>)
他利用者と比較し、平均値から自身の状況を数値で把握できる。

7. サービスの拡充

自身の妊娠しやすさを点数化し、結婚相談所等のプロフィールで利用できる。
(次世代的なブライダルチェック)

8. プラットフォーム概要 (詳細な機能一覧はアイデア段階では省略)

スマートフォンアプリ、その他ウェアラブル端末の機能

解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

- ・結婚しても、その先で出産できない状況に悩む夫婦が多い
 - ・晩婚化して出生率が低くなっていく現状がある
 - ・あらかじめ、結婚前から自分の自然妊娠率を知ることによって出生率の底上げを図る
- スマホでの生活習慣の登録や、ウェアラブルデバイスで自分の現在の自然妊娠率をモニタリングできるようにし、
男女ともに早期に生活習慣や不妊症に対するリスクを軽減する

解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

- ・スマホで生活習慣を記録する(食生活、ストレス)
→一部睡眠データ等を自動化
- ・ウェアラブルデバイス等で体質を計測
→体温、血圧、体脂肪
- ・平均値に対して自分がどの位置にいるかを日々チェックできる
- ・出力値が大きく下回ってきた場合に専門家の指導を受けられる

類似 (独創性)：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください (検索してみてください)

ペアリズム (<http://pairrhythm.com/women/>)

コウノトリ (<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000003.000012534.html>)

有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか (存在している場合のみ記載ください)

- ・結婚する前から不妊予防を開始できる。
-不妊治療は妊活を始めてから発覚し、治療を開始することになるが、
妊活前に自身が不妊の危険性がある状態化を知れることで、事前に対策を開始できる。
- ・既存のサービスは女性側の状態を把握するだけのものが多いが、
男性側の状態も確認することができ、男性側起因の不妊予防にもなる

実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

- ・基本的には情報を収集できるウェアラブル端末などを利用してもらい、そのデータをシステムが分析し、不妊傾向にあるかを判断する。

課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

- ・個人情報取り扱いの問題

期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

- ・利用する側のコストとしては、データ収集デバイス（スマホ、時計など）で発生する。
スマホアプリ等で実現できれば、コスト無し？

未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

- ・妊活をして初めて不妊の状態にあることを知るのではなく、あらかじめ自身の不妊傾向を知り、対策することで、
望んだタイミングで妊娠をすることが出来る。